

平成19年度概算要求額: 285,481百万円  
(平成18年度予算額) : 267,471百万円  
※運営費交付金中の推計額を含む

# 背景

# 原子力分野の平成19年度概算要求の主要事項

- ◆エネルギー政策基本法(平成14年6月14日施行)・エネルギー基本計画(平成15年10月閣議決定)
- ◆原子力政策大綱(平成17年10月11日原子力委員会決定)
- ◆第3期科学技術基本計画・分野別推進戦略(平成18年3月28日閣議決定・総合科学技術会議決定)
- ◆経済成長戦略大綱(平成18年6月28日経済財政諮問会議決定)
- ◆原子力に関する研究開発の推進方策について(平成18年7月科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会決定)

## 平成19年度の重点化の視点

- エネルギー安定供給・地球温暖化対策等への寄与
- 原子力技術の発展を通じた学術の進歩、国民生活の質及び人類社会の福祉の向上への貢献
- 安全確保、平和目的利用、国民・地域社会との共生等、原子力の研究開発利用を支える活動基盤の充実

## 重点化施策

### 核燃料サイクル

**高速増殖炉サイクル**

- ・高速増殖炉サイクルの実用化に向けた研究開発については、国における実用化戦略調査研究フェーズⅡの成果の評価とその後の研究開発方針を踏まえ、早期実用化を目指し、研究開発を推進。
- ・高速増殖炉原型炉「もんじゅ」については、早期の運転再開を目指し、改造工事後の工事確認試験及びプラント全体の確認試験等を着実に推進。



○高速増殖炉原型炉「もんじゅ」

### 核融合

**ITER計画等の核融合研究開発**

- ・核融合エネルギーの実現に向けた重要なステップであるITER計画の建設活動等を7極の協力枠組みにより実施するとともに、日欧協力により幅広いアプローチを推進。
- ・国内については、核融合研究の重点化とともに、共同利用・共同研究を推進。



○ITER(国際熱核融合実験炉)計画

### 原子力科学技術、量子ビーム

**大強度陽子加速器(J-PARC)計画**

- ・原子核・素粒子物理学や物質・生命科学等、基礎研究分野から産業利用まで、幅広い分野に寄与する研究開発を推進。

**重粒子線がん治療装置(HIMAC)**

- ・次世代の重粒子線がん治療に関する研究開発を推進。



○大強度陽子加速器(J-PARC)計画

**安全確保、国内保障措置制度に関する取組**

- ・核物質防護や、RIセキュリティ対策を含めた原子力の安全確保・防災対策及び保障措置を着実に実施。

**原子力分野における人材育成**

- ・原子力機構等を活用した大学の教育研究への支援を推進。

**原子力の研究開発利用を支える活動基盤の充実**

- ・説明責任を果たし、情報の公開・提供を徹底。
- ・原子力やエネルギーに関する教育支援を推進。
- ・RI・研究所等廃棄物の円滑な処分を推進。